



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 丸紅建材リース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9763 URL <http://www.mcm1-maruken.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)清水 教博
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経営管理本部長 (氏名)齊藤 正視 (TEL) 03(5404)8200
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	14,192	13.0	648	68.2	912	49.0	783	39.8
25年3月期第3四半期	12,562	△1.9	385	27.7	612	66.5	560	70.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 915百万円(54.9%) 25年3月期第3四半期 591百万円(32.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	23.47	—
25年3月期第3四半期	16.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,894	9,247	29.9
25年3月期	29,505	8,434	28.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 9,247百万円 25年3月期 8,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	5.8	500	7.5	800	7.7	700	5.7	20.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	34,294,400株	25年3月期	34,294,400株
26年3月期3Q	948,131株	25年3月期	933,418株
26年3月期3Q	33,357,241株	25年3月期3Q	33,387,614株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における我が国経済は、経済・金融政策の効果による企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復の動きが見られるようになりました。

当社グループを取り巻く建設業界は、前年度同様公共建設投資を中心に、東北地方での震災復旧・復興関連事業や首都圏のインフラ整備等の大型プロジェクトが進捗する一方で、建設労働者や資機材不足による工事の遅延や着工遅れなどの影響が出始めております。

このような経営環境のもと、当社グループは今年度から3ヶ年の中期経営計画を推進しておりますが、国内では貸貸量が増加し、貸貸単価は適正な水準には至らないものの稼働率は改善傾向にあります。海外では、タイ丸建株式会社はタイ国の旺盛な建設需要を背景に引き続き好調に推移しており、グループ全体で収益基盤の強化を図りました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高141億9千2百万円（前年同四半期比16億2千9百万円、13.0%増）、営業利益6億4千8百万円（同2億6千2百万円、68.2%増）、経常利益9億1千2百万円（同3億円、49.0%増）、四半期純利益7億8千3百万円（同2億2千2百万円、39.8%増）と増収増益になりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①重仮設事業

東北地方や首都圏を中心に貸貸稼働量、販売量共に増加したため、売上高は112億9千1百万円（前年同四半期比13億7千7百万円、13.9%増）、セグメント利益は9億9千8百万円（同2億6千8百万円、36.8%増）と増収増益になりました。

②重仮設工事事業

首都圏を中心に大型建築工事が進捗したため、売上高は15億2千3百万円（同3億1百万円、24.7%増）、セグメント利益は3千万円（同2千9百万円増）と増収増益になりました。

③土木・上下水道施設工事等事業

期中受注高が減少したため、売上高は13億8千3百万円（同5千2百万円、3.7%減）、セグメント利益は4千7百万円（同1千3百万円、22.7%減）となりました。

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産の部は、受取手形及び売掛金の増加額6億6千1百万円、建設機材の増加額2億1千6百万円及び投資有価証券の増加額3億9千6百万円などにより、前期末比13億8千8百万円増の308億9千4百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の増加額5億6千3百万円などにより、前期末比5億7千6百万円増の216億4千7百万円となりました。

純資産の部は、四半期純利益7億8千3百万円の計上などにより、前期末比8億1千2百万円増の92億4千7百万円となり、自己資本比率は1.3ポイント増の29.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成25年10月31日公表の平成26年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,257	1,241
受取手形及び売掛金	7,097	7,758
建設機材	9,083	9,299
商品	115	56
材料貯蔵品	294	305
未成工事支出金	30	82
その他	278	738
貸倒引当金	△95	△93
流動資産合計	18,061	19,390
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,087	8,058
その他(純額)	1,144	1,162
有形固定資産合計	9,231	9,220
無形固定資産		
	4	4
投資その他の資産		
その他	2,616	2,373
貸倒引当金	△408	△93
投資その他の資産合計	2,207	2,279
固定資産合計	11,443	11,504
資産合計	29,505	30,894

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,270	6,834
短期借入金	9,327	8,692
未払法人税等	68	43
引当金	21	24
その他	1,267	1,282
流動負債合計	16,955	16,877
固定負債		
長期借入金	2,689	3,323
引当金	187	171
その他	1,239	1,275
固定負債合計	4,115	4,769
負債合計	21,071	21,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,651	2,651
資本剰余金	924	924
利益剰余金	3,208	3,891
自己株式	△129	△132
株主資本合計	6,654	7,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	171
土地再評価差額金	1,820	1,820
為替換算調整勘定	△127	△79
その他の包括利益累計額合計	1,779	1,912
純資産合計	8,434	9,247
負債純資産合計	29,505	30,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	12,562	14,192
売上原価	10,647	12,005
売上総利益	1,914	2,187
販売費及び一般管理費		
役員報酬	104	97
給料手当及び賞与	697	737
福利厚生費	151	156
地代家賃	128	130
退職給付費用	60	62
その他	386	354
販売費及び一般管理費合計	1,529	1,538
営業利益	385	648
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	8
持分法による投資利益	214	281
貸倒引当金戻入額	—	13
訴訟損失引当金戻入額	61	—
その他	32	44
営業外収益合計	317	347
営業外費用		
支払利息	78	68
その他	12	15
営業外費用合計	90	83
経常利益	612	912
特別利益		
固定資産売却益	9	1
投資有価証券売却益	0	6
特別利益合計	9	7
税金等調整前四半期純利益	621	919
法人税、住民税及び事業税	60	54
法人税等調整額	0	82
法人税等合計	61	136
少数株主損益調整前四半期純利益	560	783
四半期純利益	560	783

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	560	783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	85
持分法適用会社に対する持分相当額	9	47
その他の包括利益合計	31	132
四半期包括利益	591	915
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	591	915
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,904	1,221	1,436	12,562	—	12,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	—	—	8	△8	—
計	9,913	1,221	1,436	12,571	△8	12,562
セグメント利益	729	0	61	791	△406	385

(注) 1 セグメント利益の調整額△406百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	重仮設	重仮設工事	土木・上下水 道施設工事等	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,285	1,523	1,383	14,192	—	14,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	5	△5	—
計	11,291	1,523	1,383	14,198	△5	14,192
セグメント利益	998	30	47	1,076	△427	648

(注) 1 セグメント利益の調整額△427百万円は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。